

第1193号

株式会社 茨城木材相互市場

2019

那珂川NEWS

5

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

木製繊維断熱材エコボード

フル仕様の住宅第1棟

開口部もドイツ製木製サッシで

弊社は今夏の竣工を目指し、ゲーテックス(ドイツ)が製造するドイツ産トウヒ間伐材を原材料とした木製繊維断熱材エコボードを全面使用した木造軸組住宅の建築を協力業者とともに進めています。併せて、ドイツ産木製サッシ、玄関ドアなども採用しました。

この木製繊維断熱材は欧州の木製繊維断熱材最大手であるゲーテックスが製造するもので、輸入販売総代理店であるジャーマンハウス(埼玉県川口市、松岡浩正社長)から、専用透湿モルタル、木製サッシ、玄関ドア、内装用壁紙、チタン製雨樋なども調達しました。弊社はジャーマンハウスが展開する販売代理店に加盟し、3年ほど前から木製繊維断熱材需要の普及に向けて取り組んでいます。

建築を開始したのは、資材販売と建築請負の丸正材木店様(茨城県城里町)のモデル住宅で、同社が施工しました。木造平屋建てで建築面積55坪。同社でも、木製繊維断熱材を用いた木造軸組住宅事業参入の契機とする考えです。

弊社では、エコボードなどの自然系透湿外皮による高断熱・気密住宅の需要拡大に向けた地場工務店の掘り起しを進めており、丸正材木店様と連携し、茨城県内を主力に工務店様などへの提案を強化していく予定です。(中略)

弊社では、先行してソフテックを壁面80mm厚、屋根面80mm厚2枚で施工した木造住宅も手掛けました。引き続き、取引販売店・工務店様との間でエコボード仕様の木造住宅建築についての検討を進めていきたいと考えております。

そして今後益々、「住宅の長寿命化、さらに民法改正に伴う施主消費者保護の強化に対し、自然系で透湿性外皮断熱材の重要性が増してくる」と考えております。

また、ジャーマンハウスでは、木製繊維断熱材で初めて耐火60分とCLT耐火60分の国交省認定を取得し、都市部防火地域での木造の可能性を広げてきております。

日刊木材新聞 平成31年4月4日号より

林野庁

木塀・木柵に最大500万円補助

内外産とも対象、耐久性処理求める

林野庁は2018年度第2次補正予算で、新たに住宅・非住宅での木塀や木製デッキなどの設置を補助する事業を開始した。予算総額は15億997万円。木塀・木柵等の設置に最大500万円、木製のデッキや門扉等の設置に最大1000万円を補助する。木材は内外産ともに対象で、使用する木材は部位によって防腐や保護など適切な耐久性処理が求められる。実施主体は全国木材協同組合連合会で、補助申請は4月中旬から受け付けを開始。

補助の要件は、木製の塀、柵、フェンスその他これに類する外構施設の場合、1施設につき0.05立方メートルかつ、1メートル当たり0.02立方メートル以上の木材を使用すること。

右記以外の木製の外構施設(デッキ、門柱・門扉、ボードウォーク、簡素なカーポート等の工作物)の場合、1施設につき0.2立方メートル以上の木材等を用いること。

木材は国産材、外国産材ともに対象で、クリーンウッド法(CW法)に基づく合法伐採木材、団体認定による合法木材、森林認証、事業者独自の方法による合法性の確認が必須となる。具体的な補助額は、これらの方法で合法性が確認された木材の場合、木塀等で1メートル当たり3万円、木製デッキ等で1立方メートル当たり30万円。

さらに、合法伐採木材を供給する業者、または施工者がCW法に基づく登録木材関連事業者(登録事業者)である場合は、木塀等で1メートル当たり4万円、木製デッキ等で1立方メートル当たり40万円。合法伐採木材の供給から施工までにかかわるすべての事業者(原木市場、輸入業者、製材工場、加工工場、製品市場、販売・流通業者、建設業者・工務店(元請け、下請け))がCW法に基づく登録事業者である場合は、木塀等で1メートル当たり5万円、木製デッキ等で1立方メートル当たり50万円と、優遇措置がある。

いずれの場合も1施設当たりの補助上限は、木塀等が500万円、木製デッキ等が1000万円。建て売りの住宅団地や公園施設の整備など、複数にわたる事業の上限は3000万円とされている。(一部略)

日刊木材新聞 平成31年4月10日号より

■わたしたちの使命

(茨城木材の社会的役割)

「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



[市日予定]

< 本 社 >

5月14日 (火) 記念市

5/14 さつき市

< つくば >

5月9日 (木) 記念市

16日 (木) 通常市

23日 (木) 記念市

30日 (木) 通常市

5/23 創立64周年記念市